

奈良県郡山保健所管内における 高齢者結核の現状と対策について

奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課

感染症係係長 榊田 和子

(前奈良県郡山保健所)

【郡山保健所管内の結核患者の発生状況】

郡山保健所（以下管内）は奈良県の北西部に位置し3市4町1村を管轄している。管轄人口は348,642人（H30.10.1現在）で、高齢化率は管内の市町村によりばらつきがあるが（高い村が46.9%，低い市が25.8%）、管内全体の高齢化率は29.6%と全国（28.1%）より高い傾向にある。結核罹患率は年々減少し、平成28年は13.1（国13.9）であるが、年齢別にみると、65歳以上が全体の76.4%を占め、全国の66.6%と比較して高い状況にある。介護保険事業報告（平成25年～平成27年）によると、65歳以上のうち介護保険サービスを利用している割合は全国で18.2%、奈良県で17.8%であるが、管内の新登録肺結核患者（平成26年～平成28年）65歳以上の利用している割合は28.9%と高い状況であった。このような傾向を踏まえ、集団生活の場である高齢者施設での結核対策が必要であると考え、管内の高齢者結核の現状を分析するとともに高齢者施設へ調査を実施し今後の有効な対策について検討した。

【管内の高齢者結核の現状】

(1) 新登録肺結核患者に占める65歳以上の割合は平成19年と平成28年を比較すると、全国同様、奈良県、管内ともに高くなり高齢者に偏在している（表1）。

表1 肺結核患者中65歳以上の割合

	全国	奈良県	管内
平成19年	53.4%	60.0%	56.9%
平成28年	64.5%	74.4%	66.7%

(2) 平成26年から平成28年の新登録肺結核患者の喀痰塗抹陽性者の割合を見ると、喀痰塗抹陽性者の割合は65歳以上が15歳～64歳に比べ全国と同程度に15%以上高く、半数以上が喀痰塗抹陽性で発見されている（表2）。

表2 肺結核患者中喀痰塗抹陽性者の割合（平成26年～平成28年）

	全国	奈良県	管内
15歳～64歳	39.9%	43.1%	39.5%
65歳以上	55.7%	54.0%	54.6%

(3) 平成26年から平成28年の新登録肺結核患者の喀痰塗抹陽性者の呼吸器症状の有無について見ると、全国及び奈良県の総数との比較になるが、管内65歳以上

の方が呼吸器症状のある場合が多い。

また管内15歳～64歳に比べ65歳以上が呼吸器症状ありの割合が4.6%低かった。一方で高齢者結核の症状の特徴として言われている呼吸器以外の症状のみという方も15歳～64歳が6.7%に対し、65歳以上で11.3%と高くなっている（表3）。

表3 喀痰塗抹陽性者の呼吸器症状の有無（平成26年～平成28年）

	全国	奈良県	管内		
	総数	総数	総数	65歳以上	15～64歳
呼吸器症状(+)	73.1%	77.7%	89.7%	88.7%	93.3%
呼吸器症状(-)	26.4%	21.9%	10.3%	11.3%	6.7%
その他の症状のみ	16.7%	14.5%	7.4%	9.4%	0.0%
症状なし(健診発見含む)	9.8%	7.4%	2.9%	1.9%	6.7%

【管内の現状】新登録結核患者数は減少傾向にあるが、肺結核及び肺外結核ともに高齢者の割合が高い。高齢者肺結核では感染性が高い喀痰塗抹陽性が多い。喀痰塗抹陽性であっても呼吸器症状のない高齢者が一定数存在する。

【高齢者施設へのアンケート調査結果】

平成29年に高齢者施設の職員を対象とした保健所主催の感染症対策研修会案内送付時に施設における結核対策に関する調査票を同封し郵送にて回収した。回収率は居住型33.0%（配布数97）通所型43.6%（配布数140）であった。

調査票の項目は①結核に関する知識、②施設内感染対策、③サービス利用開始時の問診項目、④胸部X線検査確認状況とした。

(1) 結核に関する知識においては、居住型、通所型ともに多くの施設が理解を示しているが、感染した場合結核を発病するリスクが高い疾患を知っている施設は居住型72.7%、通所型59%であった（表4）。

表4 結核に関する知識について

	結核は空気感染と知っている	感染と発病の違いを知っている	全身の感染症と知っている	感染した場合、発病するリスクが高い疾患を知っている
居住型	97.0%	93.9%	87.9%	72.7%
通所型	100.0%	82.0%	72.1%	59.0%

(2) 施設内の感染対策については、利用者に咳や痰の症状がある場合は、マスクの着用や受診勧奨をしている施設は居住型、通所型ともに90%以上であるが、

施設内感染マニュアルに結核対策の記載がされている施設は居住型54.5%、通所型36.1%であった。職員向け結核対策研修会を実施している施設については、居住型15.2%、通所型13.1%であった（表5）。

表5 施設内感染対策について

	利用者に咳・痰がある場合、マスクを着用している	2週間以上咳・痰が続く場合、受診勧奨をしている	施設内感染症対策マニュアルに結核対策の記載がある	結核対策研修会を開催している
居住型	93.9%	90.9%	54.5%	15.2%
通所型	96.7%	91.8%	36.1%	13.1%

(3) サービス利用開始時の問診項目については、結核既往歴、家族歴を聴取している施設は居住型69.7%、通所型42.6%であった。結核ハイリスク疾患について聴取している施設は、「感染すると結核を発病するリスクが高い疾患を知っている」と回答している施設が居住型72.7%、通所型59%あるにもかかわらず、居住型60.6%、通所型29.5%であった（表6）。

表6 サービス利用開始時の問診項目

	結核既往歴・家族歴を聴取している	結核ハイリスク疾患の有無を聴取している
居住型	69.7%	60.6%
通所型	42.6%	29.5%

(4) 胸部X線検査確認状況については、利用開始時に確認している施設は、居住型87.9%、通所型21.3%であった。利用開始後定期的に確認している施設は、居住型69.7%、通所型14.8%であった。胸部X線検査にて精密検査が必要になった場合、受診勧奨を行っている施設は居住型90.9%、通所型72.1%であった。医療機関受診を確認している施設は居住型93.9%、通所型72.1%であった。また受診結果まで把握している施設は、居住型は93.9%で受診確認後、結果まで全て確認できているが、通所型は65.6%と一部確認できていない施設があった（表7）。

表7 胸部X線検査確認状況

	サービス利用開始時に確認している	定期的(年1回以上)に確認している	胸部XP検査にて要精密検査の場合		
			受診勧奨している	医療機関受診を確認している	医療機関受診の結果を把握している
居住型	87.9%	69.7%	90.9%	93.9%	93.9%
通所型	21.3%	14.8%	72.1%	72.1%	65.6%

【高齢者結核患者への取り組み課題】

管内の新登録結核患者数は減少傾向にあるが、肺結核及び肺外結核ともに高齢者結核割合の拡大傾向は今も変わらず続いている。高齢者の肺結核では感染性が高い喀痰塗抹陽性が多く、喀痰塗抹陽性であっても呼吸器症状のない65歳以上の患者が1割強存在する。

高齢者施設の結核対策の現状は居住型、通所型ともに結核に関する基本的な知識は持っており、咳や痰などの有症時の対応は実施できつつあるが、早期発見に

着眼した対策は多くの施設が不十分な状況である。これらのことから、呼吸器症状のない結核患者を早期に発見すること、また喀痰塗抹陽性となる前の喀痰塗抹陰性の段階で早期に発見することが必要であり、集団生活の場である高齢者施設にリスク管理を行ってもらうとともに、結核の早期発見の担い手となってもらうことが必要であり、保健所としての対策強化が重要である。これらを踏まえ必要な対策を以下にまとめた。

(1) 早期発見対策：高齢者施設入所時や通所サービス利用時には必ず胸部X線検査を実施し、既往歴や治療歴及び家族歴の記録を残す。高齢者施設入所者は定期的（1年に1回以上）に胸部X線検査を実施し、健診で精密検査が指示された場合は陳旧性陰影の場合でも喀痰検査を実施するなど詳しく検査するようにする。入所者や通所者の毎日の健康観察に呼吸器症状だけでなく発熱、体重減少、食事量などを加え結核を考慮した問診を行い、一定期間の情報の集約、検討を行う。施設から医療機関へ受診する時にはこれらの情報を付記する。

(2) 診断の遅れ対策：他疾患による長期通院者には定期的に胸部X線検査の実施を確認するとともに、他疾患による入院でも入院時には胸部X線検査を実施する。

(3) 結核対策アンケートを継続することで職員への認識を高め定着化するとともに、結核に対する取り組み状況を把握し効果的な指導につなげる。

(4) 胸部X線検査については、実施義務のない施設から利用者への働きかけが難しいと意見があったことから保健所において施設で活用できる胸部X線検査啓発資料を作成し活用中である。活用後の検査実施率等の評価はできていないが、施設からは患者及び家族に説明しやすくなったと声がきかれている。

【まとめ】

全結核を半減させるには高齢者結核対策は重要なテーマである。今後も継続して「居住型・通所型高齢者施設向け研修会の実施」「結核発生時などの施設への個別指導の実施」「結核対策アンケートの実施」等を実施し、知識の普及だけでなく、施設の現状や職員が困っていることを一緒に考え、早期発見、早期対応できるように継続した働きかけを重ねながら結核対策を進めていきたい。🐾